

名誉会長挨拶

大阪府立阪南高等学校校長 川端康之

まず、同窓会の皆様には体育館の緞帳寄贈に対しましてお礼を申し上げます。

おかげさまで真新しい緞帳で気持ちよく 56 期生を送り出し、4 月には 59 期生を迎えることができました。

日ごろの皆様の熱心な同窓会活動を見るにつけ、阪南卒業生のつながりの深さを感じております。先日も、本校出身の大学の先生が母校に学生募集の依頼に来られました。近隣の小中学校の校長先生にも OB・OG が多々おられます。

さて、私が今日出席いたしましたからには本校生徒の現況をお伝えしないわけには参りません。進学実績ですが、国公立、関関同立、産近甲龍を併せまして 96 名が現役で合格いたしました。

クラブ活動では、サッカー部の頑張りをお伝えしたいと思います。先日、大阪府の公式戦があり、4 回戦で対戦相手の強豪、北陽高校に敗れたとはいえ、その内容は決して恥じるものではありませんでした。私も観戦しておりましたが、実力差はあってもあきらめずに必ずボールを取りに行く姿勢には感動いたしました。

また、本校の特色の一つでもあります国際交流ですが、今年の新入学生の中にはニュージーランドのタワ高校に短期留学したいというはっきりした目的意識をもって阪南高校を選んだ生徒もおり、短期留学の候補者を選抜で決めるといううれしい悲鳴をあげている次第です。

卒業生の皆様、機会がありましたら、是非母校に来ていただき、後輩の活躍する姿を見てやってください。お願い申し上げます。